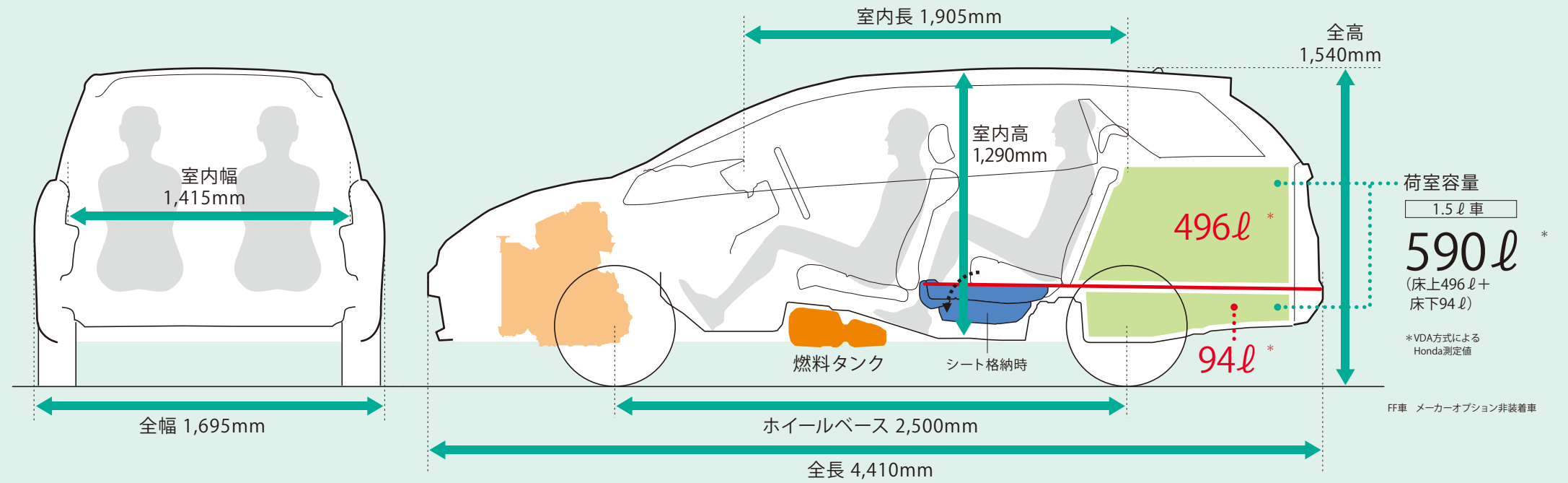


コンパクトなボディに、 ゆったり乗れる空間と 大容量のラゲッジスペース。

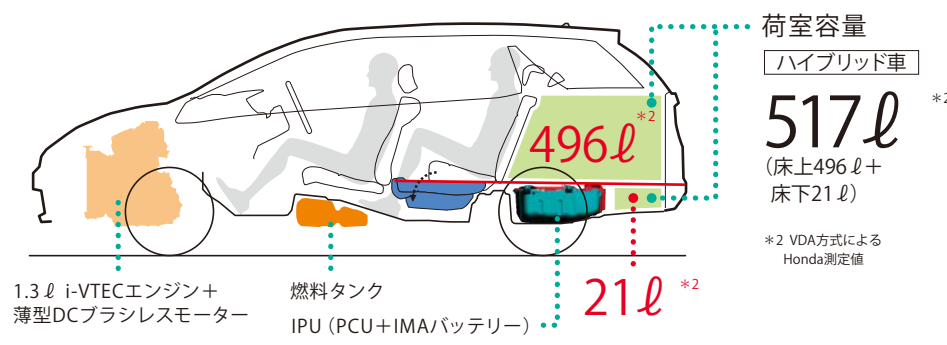
毎日ストレスなく運転できる扱いやすいボディサイズに、さまざまなシーンで活用できる広さと使い勝手を求めました。Honda独自の高効率なパッケージング技術、センタータンクレイアウトにより、ゆったりとくつろげる居住空間を確保。リアには低床設計による大容量の荷室空間と優れた使い勝手を実現し、ハイブリッド車も同等の積載性(床スペース)を備えました。また、テールエンドまでゆとりを感じる伸びやかさとともに、取り回し性を考慮しながらフロントノーズの存在感を持たせることで、コンパクトでありながら車格感のある独自のフォルムを完成しています。



ガソリンエンジン車と同等の居住性、積載性(床スペース)を確保した、ハイブリッド・ワゴンパッケージング。

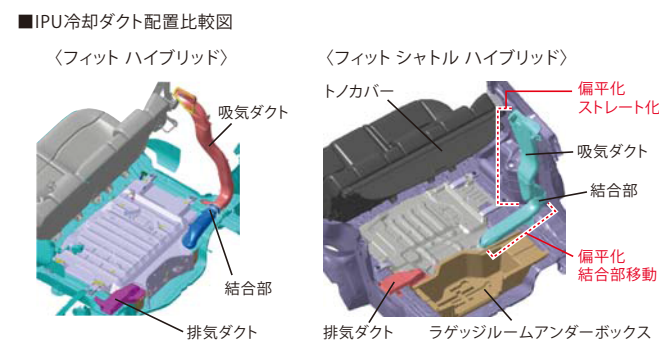
ハイブリッド車には、シンプルな構成で軽量・コンパクトなIMA(インテグレートド・モーター・アシスト)を搭載。IPU*1を、荷室の床面を高くすることなく床下にすっきりと収め、1.5ℓ車と同等の居住性やシートアレンジ、高い積載性を実現。センタータンクレイアウトとIMAの組み合わせにより、これまでにないスペース・ユーティリティを持つハイブリッドカーを完成しました。

*1 インテリジェントパワーユニット、PCU(パワーコントロールユニット)とIMA(バッテリー)で構成



IPUまわりのレイアウトを工夫し、低くフラットなラゲッジスペースを実現。

ステーションワゴンの最も重要な資質のひとつであるラゲッジスペース。ハイブリッドカーであっても最大限の広さと使いやすさを求め、IPUの冷却用吸気ダクトに工夫を凝らしました。まず、床面やサイドライニングがフラットになるよう、ダクトの断面形状を扁平化。このままでは、最も効率のよい円断面に比べて圧力損失が増加するため、CAE*によるシミュレーションを繰り返し行い、形状・レイアウトを最適化。幅を広げ、ストレート化することで必要な冷却性能を確保しました。また、ダクトの結合部を変更するなど細部にまで工夫を凝らし、低く、隅々までフラットなラゲッジスペースを実現しています。*コンピュータによる強度・剛性・流体解析



前後席ともにゆとりある空間設計。

高度なパッケージング技術により、広い室内を確保したうえで、さらなるゆとりを求めてさまざまな工夫を施しました。ドアライニングを凹面形状とすることで横方向のゆとりを広げ、フロントシートバック裏の形状を工夫することにより、後席乗員のひざまわりスペースを拡大。ルーフの長いワゴンボディは後席においても余裕あるヘッドクリアランスを生み出しました。また、より前方に配置したフロントウィンドウが、開放感を高めています。



低床設計による590ℓ*1の大容量ラゲッジスペース。ハイブリッド車も517ℓを実現。

5名乗車時で荷室長は1,020mm、荷室容量は床上と床下を合わせて590ℓ*1を確保した大容量ラゲッジスペース。後席をダイブダウンさせて低くフラットにスペースを広げれば、荷室長は最大2,000mm*2、荷室容量は最大1,165ℓ*3まで拡大します。なお、ハイブリッド車においても、同一の床上寸法・容量を実現しています。数値はHonda測定値 荷室容量はVDA方式による *1 1.5ℓ車(FF) *2 助手席スライド最前時 *3 2名乗車時

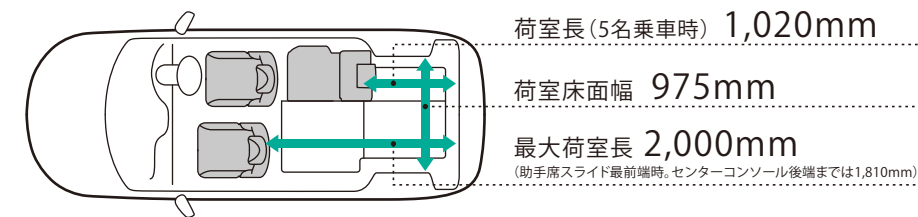
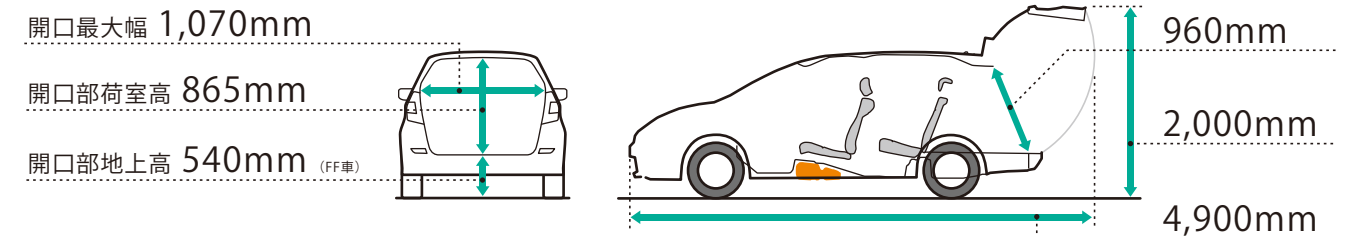


Photo: HYBRID・スマートセレクション メーカーオプション装着車

ラゲッジスペースの使い勝手を高める、低い掃き出しフロアと少ないスペースで開くテールゲート。

センタータンクレイアウトが生み出す低床設計によって、1.5ℓ車、ハイブリッド車ともに荷室床面地上高を540mm(FF車)に抑えました。さらに、荷室床面と開口部との段差をなくした掃き出しフロアとし、優れた使い勝手を実現。開口部の荷室高は865mm、開口最大幅は

1,070mmを確保し、大きな荷物の積み降ろしも楽に行えます。また、狭い場所でのテールゲート開閉を考慮し、リアウィンドウの傾斜を強めてヒンジをより前方に配置。開閉に必要なスペースを抑えるとともに、積み込みやすさにも貢献しています。数値はHonda測定値



最小回転半径4.9m*の優れた取り回し性。

エンジンなどのメカニズムのコンパクト設計によって十分なタイヤ切れ角を確保し、最小回転半径4.9m*を実現。フロントの左右コーナーを絞り込んだボディ形状や広々とした視界、低速走行時に軽い力でステアリング操作できるEPS(電動パワーステアリング)と合わせ、優れた取り回し性を獲得しています。また、FF車の全高は1,540mmで一般的な立体駐車場(高さ制限1,550mm)に入庫可能です。

*1.5ℓ車(FF)、1.5ℓ車(4WD)、ハイブリッド車は5.1m

最小回転半径

4.9m*

